

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 植物の特化代謝物による新規の翻訳後修飾機構

2. 個人研究者名

相原 悠介（名古屋大学 大学院理学研究科 研究員）

3. 事後評価結果

本 ACT-X 研究では、植物細胞内での機能が未解明な特化代謝物について、植物自身の標的タンパク質を修飾・制御するメカニズムと、その生理的役割を解明すべく研究を推進し、標的タンパク質候補を複数取得することができました。またその過程で、他研究機関との共同研究により、生理活性や選択性を増大させた高活性誘導体の開発にも成功し、産業への応用可能性を実証することができました。これらの成果をもとに、高活性誘導体の実用試験を、商社・農業企業との協働で開始しています。

これらの成果は、研究者のポテンシャルの高さを示しており、加速フェーズでのさらなる研究により、標的タンパク質の同定と詳細なメカニズム解明を行い、植物の様々な生理機能に作用する植物新薬の社会実装に繋がることが期待されます。